

NETIS登録番号	技術名称	補強筋法面工			
QS-100010-A	副題	補強鉄筋と凹型プレート及び植生シートの組合わせによる法面保護工			
分類1	共通工	法面工	その他	キーワード:安全、安心、環境、コスト削減・生産性の向上	
分類2	共通工	法面工	その他		
開発目標	省力化、経済性の向上、周辺環境への影響抑制				
技術の位置付け	<input type="checkbox"/> 推奨技術	<input type="checkbox"/> 準推奨技術	<input type="checkbox"/> 活用促進技術	<input type="checkbox"/> 設計比較対象技術	<input type="checkbox"/> 少実績優良技術
特許	<input checked="" type="checkbox"/> 有り (特許番号:特許第4157548) <input type="checkbox"/> なし)				
技術賞、審査証明等	<input type="checkbox"/> ものづくり日本大賞 <input type="checkbox"/> 国土技術開発賞 <input type="checkbox"/> 学会賞 <input type="checkbox"/> 建設技術審査証明				
問合せ先	会社名	株式会社 京和土建		TEL	098-834-5143
	住所	沖縄県那覇市字識名290番地21		E-MAIL	kojibu01@kyouwa-doken.co.jp
	担当者	系数 潔			
実績件数 H26.9.12現在	国土交通省	その他の公共機関		民間等	
	2件	130件		15件	

技術概要:(300字以内)

補強筋法面工とは、法面表層の土砂崩壊と土砂流出を防ぎ、長期的な安定を確保し、植生シートにより植生を良好にする法面保護工法です。法面の緩み、抜け落ち防止及び緑化は、法面全面に覆う植生シート更に、その上に溶接金網を敷設し表層土の浮き上がりを防止します。又その上から補強鉄筋に凹型プレートを組み付けて、植生シート及び溶接金網を押しえ一体化を図ります。当該技術によれば、凹型プレート(300×300×6)は軽量で運搬・設置が容易であり、法面上での作業が容易且つ短時間となる為、安全上もより好ましいものとなります。

<技術の新規性>

従来技術の支圧版は、法面上へ頭部突出(頭部処理材キャップ等)があり、法面部の維持管理上(機用いての草刈作業等)危険性があった。当該技術では、頭部突出部を地中の中へ埋め込む事が可能である。

<期待される効果>

支圧版部の頭部突出部を地中の中へ埋め込む事が可能である為、法面部の草刈など維持管理が行易い。

植生シート(浸食防止機能付き)と溶接金網を法面全域に覆う為、降雨時に於ける浸食防止対策が可能である。(表面浸食防止が浸食対策効果が大きい。)

専用削孔機及び、法面对策工組み合わせによる施工工数の低減が図れる為、「コスト削減」・「工期短」が期待される効果となる。

活用の効果

比較する従来技術:鉄筋挿入工+植生基材吹付け工

項目	活用の効果	比較の根拠
経済性	向上(41.04%)	専用の削孔機械の使用により、削孔時間が大幅短縮、又植生方法の違いによるコスト削減が図れる。
工程	短縮(28.12%)	専用の削孔機械の使用により、削孔時間が大幅短縮
品質	同程度	
安全性	同程度	
施工性	同程度	
周辺環境への影響	向上	法面のメンテナンス作業が行い易い。施工プラントが小型で騒音等が少ない。更に作業工程ローが2パターン確保できる為、裸地期間を短くする事が可能。

<技術の適用範囲>

- ・法面の必要抑止力が100KN/m程度以下である事。
- ・施工中法面が自立している事。
- ・最大法面長30m
- ・土質:軟岩・砂礫質土・砂質土・シルト・粘性土

<施工実績>2014年9月12日現在

国・自治体 132件(九州2件国土交通省) 沖縄130件)

民間・その他 15件

施工総面積A=37,000㎡



施工直後



施工後6ヶ月